

虫食い筆算①（かけ算・わり算）

小5～6／見えている数字から□を決める6もん

なまえ _____

ひづけ _____

かけ算のやりかた（れい）

$$\begin{array}{r} \times \\ 37 \\ 24 \\ \hline 148 \\ 740 \\ \hline 888 \end{array}$$

- ① 1だん目の一の位は8。7×□の一の位が8
→ □は4（7×4=28）
- ② 37×4=148 だから1だん目は148
- ③ 2だん目は1けた左へ。148+740=888

わり算のやりかた（れい）

$$\begin{array}{r} 16 \\ 6 \overline{) 96} \\ \underline{6} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

- ① 9の中に6は1回。6×1=6、9-6=3
- ② 3に6をおろして36。6×□=36
→ □は6（6×6=36）
- ③ 36-36=0 でわり切れた

きまり

- には0～9の数字が1つずつ入る。同じ数字が何こ入ってもよい。
- いちばん上のけたに0は入らない。かけ算の2だん目は1けた左へずらして書く。
- わり算では商に0が立たない。ひいたあまりが0になるのはいちばん下のだんだけ。

□に数字を1つずつ書こう。決まるところから書く。書けたらたしかめよう。

A かけ算の筆算（2けた×2けた） どのだんから決まるかな？

A1

$$\begin{array}{r} \times \\ 8 \\ 7 \\ \hline 4 \\ 5 2 \\ \hline 6 \end{array}$$

A2

$$\begin{array}{r} \times \\ 3 \\ 8 \\ \hline 2 \\ 9 \\ \hline 31 \end{array}$$

A3

$$\begin{array}{r} \times \\ 6 \\ 83 \\ \hline \\ 4 \\ \hline 50 \end{array}$$

B わり算の筆算（3けた÷1けた） ひく数を手がかりに決めよう

B1

$$\begin{array}{r} 6 \\ 5 \overline{) 8 5} \\ \underline{} \\ \\ \underline{} \\ 5 \\ \underline{} \\ 4 \\ \underline{} \\ 0 \end{array}$$

B2

$$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) } \\ \underline{} \\ 2 \\ \underline{} \\ 1 \\ \underline{} \\ 2 \\ \underline{} 4 \\ \underline{} \\ 0 \end{array}$$

B3

$$\begin{array}{r} 4 \\ 4 \overline{) } \\ \underline{} \\ 73 \\ \underline{} \\ 3 \\ \underline{} \\ 2 \\ \underline{} \\ \\ \underline{} \\ 0 \end{array}$$

たしかめ

- かけ算は1だん目と2だん目をたして、答えになるか計算しよう。
- わり算はひく数がわる数×商になっているか、いちばん下が0になるか見よう。
- ちがったら、決まるところからもう一度見なおそう。



虫食い筆算②（かけ算 3けた×2けた）

小5～6／答えの行も 手がかりに 使う 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

かけ算の やりかた（れい）

$$\begin{array}{r} 128 \\ \times 13 \\ \hline 128 \\ 1664 \\ \hline 1664 \end{array}$$

- ① 2だん目は1けた 左へ ずらして たす。
- ② 十の位：□+8 の一の位が 6
→ □は 8 (8+8=16、1 くり上がる)
- ③ 百の位：3+2=5、くり上がりの1を たして
答えの □は 6

きまり

- ・ □には 0～9の 数字が 1つずつ 入る。
- ・ 数の いちばん 上の けたの □には 0は 入らない。
- ・ 2だん目は 1けた 左へ ずらして 書く。
- ・ 答え=1だん目+2だん目。くり上がりも 数える。

□に 数字を 1つずつ 書こう。答えの 行も 手がかりに しよう。

1

$$\begin{array}{r} 167 \\ \times 1 \\ \hline 167 \\ 167 \\ \hline 167 \end{array}$$

2

$$\begin{array}{r} \square\square\square \\ \times 86 \\ \hline \square\square\square \\ 18\square4 \\ \hline 2\square\square\square \\ \square\square\square0\square \\ \hline \square\square\square0\square \end{array}$$

3

$$\begin{array}{r} \square73 \\ \times \square5 \\ \hline \square8\square5 \\ 2\square\square\square \\ \hline \square17\square\square \end{array}$$

4

$$\begin{array}{r} 592 \\ \times \square\square \\ \hline 5\square\square\square \\ \square7\square\square \\ \hline 5\square\square\square8 \end{array}$$

5

$$\begin{array}{r} \square9\square \\ \times \square\square \\ \hline 2\square\square\square \\ 2091 \\ \hline \square\square0\square\square \end{array}$$

6

$$\begin{array}{r} \square43 \\ \times \square3 \\ \hline 2\square\square\square \\ \square\square\square8 \\ \hline \square3\square09 \end{array}$$

たしかめ

- ・ 1だん目と 2だん目を たして (2だん目は 1けた 左)、答えに なるか 計算しよう。
- ・ かけられる数×かける数を 計算しても、たしかめられる。
- ・ ちがったら、決まる ところから もう一度 見なおそう。



虫食い筆算③（わり算・わる数も □）

小5～6／わる数も □ になっている 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

わり算の やりかた（れい・わる数が □）

$$\begin{array}{r} 15 \overline{) 30} \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$$

- ① 商の 1けた目は 2、1回目の ひく数は 30。
わる数×商の 1けた目=ひく数 だから
わる数×2=30 → 30÷2=15 が わる数
- ② 4に 5を おろして 45。
15×□=45 → □は 3
- ③ 45-45=0 で わり切れた。

きまり

- ・□には 0～9の 数字が 1つずつ 入る。
- ・数の いちばん 上の けたの □には 0は 入らない。
- ・商に 0は 立たない。
- ・あまりが 0に なるのは いちばん 下の だんだけ。
- ・あまりが 2けたに なる ことも ある。
下ろした 数をつけて 3けたに なる 行も ある。

わる数も □ になっているよ。□に 数字を 1つずつ 書こう。

1

$$\begin{array}{r} \square\square2 \overline{) 43\square} \\ \underline{43\square} \\ 0 \end{array}$$

2

$$\begin{array}{r} 1\square \overline{) \square\square\square} \\ \underline{\square\square\square} \\ 6\square \\ \underline{6\square} \\ 0 \end{array}$$

3

$$\begin{array}{r} \square\square \overline{) \square\square8} \\ \underline{\square\square8} \\ 1\square \\ \underline{1\square} \\ 8\square \\ \underline{8\square} \\ 0 \end{array}$$

4

$$\begin{array}{r} \square\square \overline{) \square\square1} \\ \underline{\square\square1} \\ 6\square \\ \underline{6\square} \\ 7\square1 \\ \underline{7\square1} \\ 1\square1 \\ \underline{1\square1} \\ 0 \end{array}$$

5

$$\begin{array}{r} \square1 \overline{) \square\square\square} \\ \underline{\square\square\square} \\ 4\square \\ \underline{4\square} \\ 2\square \\ \underline{2\square} \\ 0 \end{array}$$

6

$$\begin{array}{r} \square\square \overline{) \square\square9} \\ \underline{\square\square9} \\ 7\square \\ \underline{7\square} \\ 9\square \\ \underline{9\square} \\ 3\square \\ \underline{3\square} \\ 0 \end{array}$$

けいさんらん（たしかめに つかおう）

たしかめ

- ・わる数×商が ひく数に なっているか、いちばん 下が 0に なるか 見よう。
- ・わる数×商の 1けた目=1回目の ひく数、2けた目=2回目の ひく数 に なるか たしかめよう。
- ・ちがったら、決まる ところから もう一度 見なおそう。





虫食い筆算⑤（しあげ）

小5～6／わる数も □ ・ あまりも ある 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

しあげの やりかた（2つの 手がかり）

- ・ わる数が □ の とき：
わる数×商の 1けた目=1回目の ひく数。
(商の いちばん 左の 数が 1けた目)
(れい：わる数 14、商の 1けた目 3なら $14 \times 3 = 42$)
- ・ あまりが ある とき：あまりは わる数より 小さい。
ひいた あとの 数が わる数より 大きければ、
商の 数が 小さすぎる。

きまり

- ・ □には 0～9の 数字が 1つずつ 入る。
- ・ 数の いちばん 上の けたの □には 0は 入らない。
- ・ あまり（2マス）も いちばん 上の けたに 0は 入らない。
- ・ 商に 0は 立たない。
- ・ ひいた あまりは どの だんも 0に ならない。
- ・ あまりは わる数より 小さい。
- ・ あまりが 2けたに なる ことも ある。
下ろした 数をつけて 3けたに なる 行も ある。

□に 数字を 1つずつ 書こう。どこから 決めるかは 自分で 見つけよう。

1

		□	□
1	□	3	□
		3	□
		4	4
		□	□
		□	4

2

		□	3
2	□	8	□
		□	□
		□	9
		□	□
		□	9

3

		1	□
2	□	□	9
		□	□
		1	0
		□	□
		□	2

4

		□	□
□	0	□	7
		3	□
		7	7
		□	□
		1	7

5

		□	□
□	□	□	0
		4	□
		□	□
		1	9
		3	□

6

		□	□
□	□	□	5
		□	□
		9	□
		5	6
		□	0

けいさんらん（たしかめに つかおう）

たしかめ

- ・ わる数×商+あまり=わられる数 に なるか 計算しよう。
- ・ あまりが わる数より 小さいか、わる数×商の 1けた目が 1回目の ひく数に なるか 見よう。
- ・ ちがったら、決まる ところから もう一度 見なおそう。

